



# 2016年3月期 決算概要

2016年5月20日

JCRファーマ株式会社

【証券コード】 4552

【問合せ先】 経営企画本部 本多・北村

(TEL 0797-32-8591)

## 注意事項

本資料中の開発見通し等の将来に関する記述は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知ください。

また、本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	対前年 増減率	2017年3月期 予想	対前年 増減率
売上高	16,855	17,438	+3.5%	18,700	+7.2%
売上原価	5,740	6,459	+12.5%	5,850	△9.4%
売上総利益	11,114	10,978	△1.2%	12,850	+17.1%
販売・管理費	5,765	5,477	△5.0%	6,030	+10.1%
研究開発費	3,334	3,348	+0.4%	4,240	+26.6%
営業利益	2,014	2,152	+6.9%	2,580	+19.8%
経常利益	2,340	2,443	+4.4%	2,690	+10.1%
当期純利益	1,682	1,789	+6.4%	1,980	+10.6%

対売上高	売上原価率	34.1%	37.0%	+2.9%	31.3%	△5.7%
	研究開発費率	19.8%	19.2%	△0.6%	22.7%	+3.5%
	営業利益率	12.0%	12.3%	+0.3%	13.8%	+1.5%

(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期 (予想)
グロウジェクト	9,580	10,222	10,320
エポエチンアルファBS	3,603	3,638	3,580
尿由来製品	1,080	1,161	1,140
抗がん剤原体・テムセル等	907	1,294	680
契約金収入	1,270	723	2,590
<b>医薬品事業</b>	<b>16,442</b>	<b>17,040</b>	<b>18,310</b>
<b>医療用／研究用機器事業</b>	<b>413</b>	<b>398</b>	<b>390</b>
<b>売上高合計</b>	<b>16,855</b>	<b>17,438</b>	<b>18,700</b>

(単位:百万円)

	2015年 3月末	2016年 3月末	増減		2015年 3月末	2016年 3月末	増減
流動資産	17,191	18,366	+1,175	流動負債	5,134	6,067	932
				固定負債	2,686	2,217	△469
固定資産	16,895	16,980	+85	負債合計	7,821	8,284	+462
				純資産合計	26,264	27,062	+797
合計	34,086	35,346	+1,260	合計	34,086	35,346	+1,260

自己資本比率	76.6%	75.9%	△0.7%
--------	-------	-------	-------

## <主な増減>

	増加	減少
資産	現金及び預金+811/棚卸資産+941/預け金+776	有価証券△1,809
負債	未払法人税等+687	リース債務△184
純資産	利益剰余金+1,149	

## <キャッシュ・フロー>

(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	増減	主な増減
営業活動	499	2,201	+1,702	・売上債権の増減+1,153
投資活動	△1,419	△980	+439	・有価証券の増減+425
財務活動	△1,261	△1,314	△52	・借入金の増減 +205 ・自己株式の増減△245
現金及び現金同等物	3,643	3,523	△120	

## <設備投資・減価償却費>

(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期(予想)
設備投資費	1,522	1,237	1,800
減価償却費	1,352	1,407	1,530

### <売上高>

- グロウジェクト: 引き続き伸長して前期比6.4億円(6.7%)増収
- エポエチンアルファBS: 引き続き伸長して前期比34百万円(1.0%)増収
- 尿由来製品も順調に推移し、全体で5.8億円(3.5%)の増収。

### <利益>

- 研究開発費: 前期に引き続きJR-131・J-Brain Cargoなどへの投入により、  
ほぼ前期と同水準(前期比0.1億円増加)
  - 販売・管理費: 成長ホルモン事業の譲受対価の支払完了などにより2.8億円軽減
  - 営業利益は1.3億円(6.9%)増、経常利益は1.0億円(4.4%)増、当期純利益は1.0億円(6.4%)増といずれも増益。
- 
- 売上高、純利益は過去最高の数値を達成。

### <売上高>

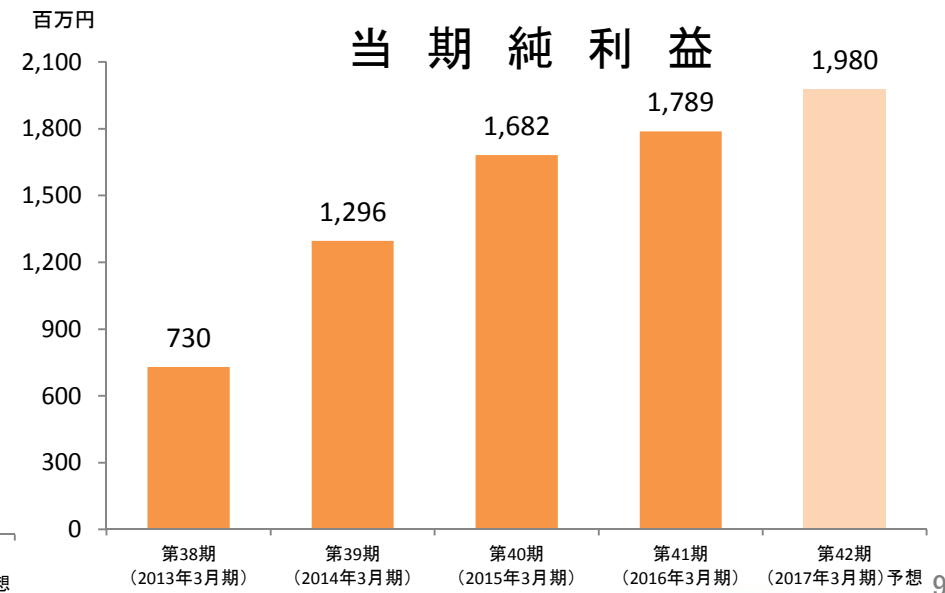
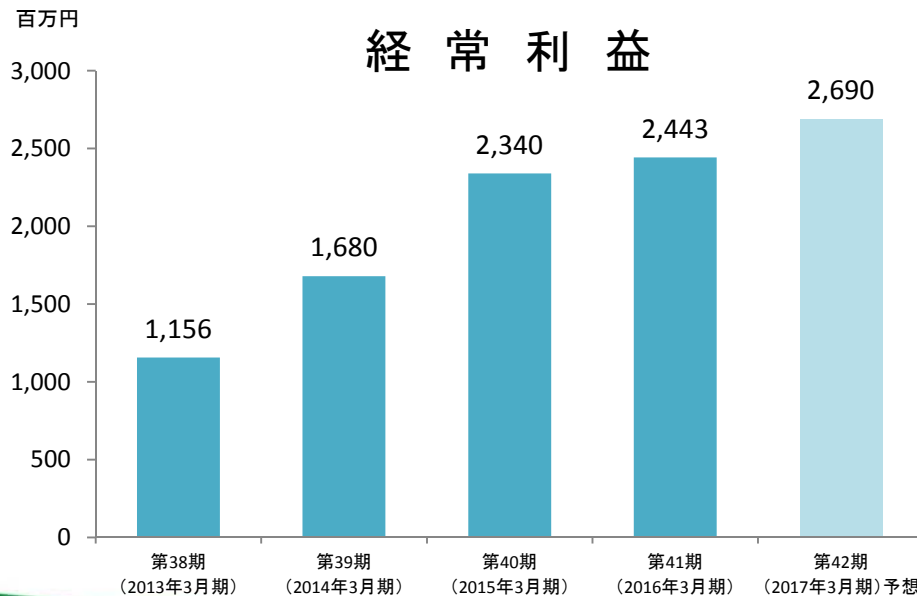
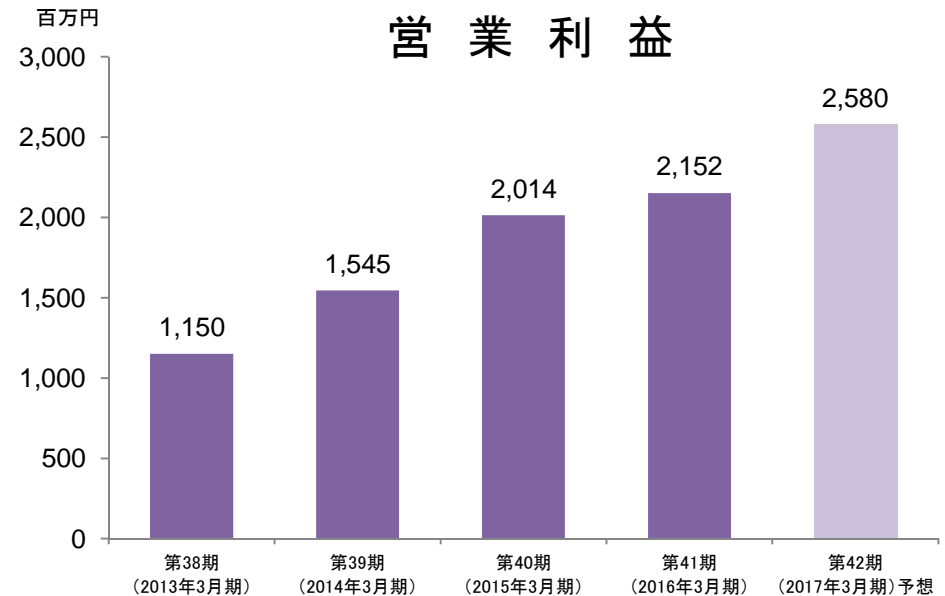
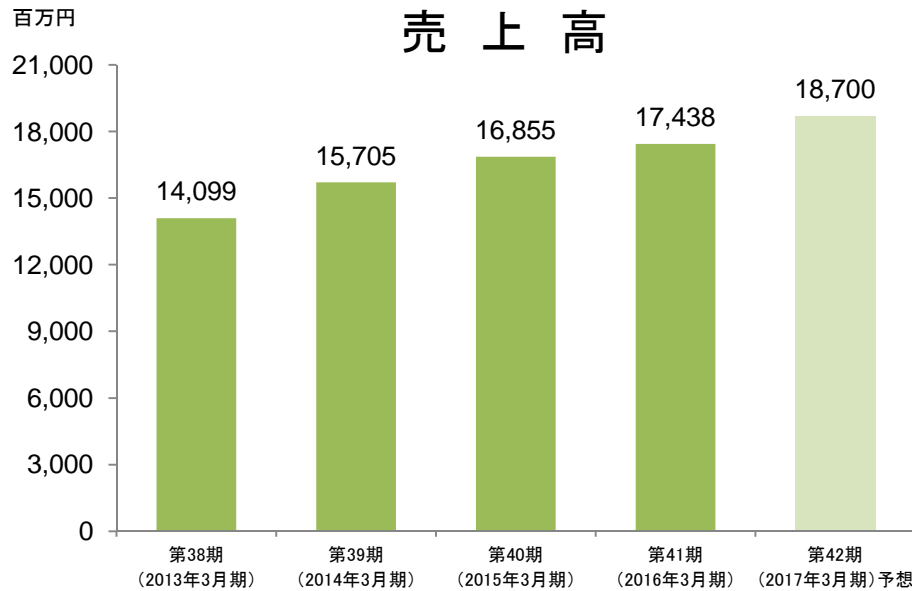
- グロウジェクト：薬価改定の影響はあるが、本数の伸長を見込み前期比約1億円（1.0%）の増収を見込む
- エポエチンアルファBS：数量ベースでは引き続き伸長を見込むが、伸長率は低下。薬価改訂の影響により前期とほぼ同水準を見込む
- 契約金収入： 開発マイルストーンのほか、J-Brain Cargoなど自社独自技術のライセンス展開を織り込む
- テムセルについても年間を通して寄与するため増加。  
全体で12.6億円（7.2%）の増収、売上総利益も18.7億円（17.1%）増を見込む。

### <利益>

- 研究開発費： JR-051, JR-131に加えJR-141, JR-142などの研究開発の進展により前期比8.9億円の増加を見込む
- 販売・管理費： グロウジェクト・エポエチンアルファBS・テムセルおよびライセンス事業の一層の強化を図る。前期比5.5億円の増加を見込む。
- 営業利益は4.2億円（19.8%）増、経常利益は2.4億円（10.1%）増、当期純利益は1.9億円（10.6%）増といずれも過去最高益の更新を見込む。



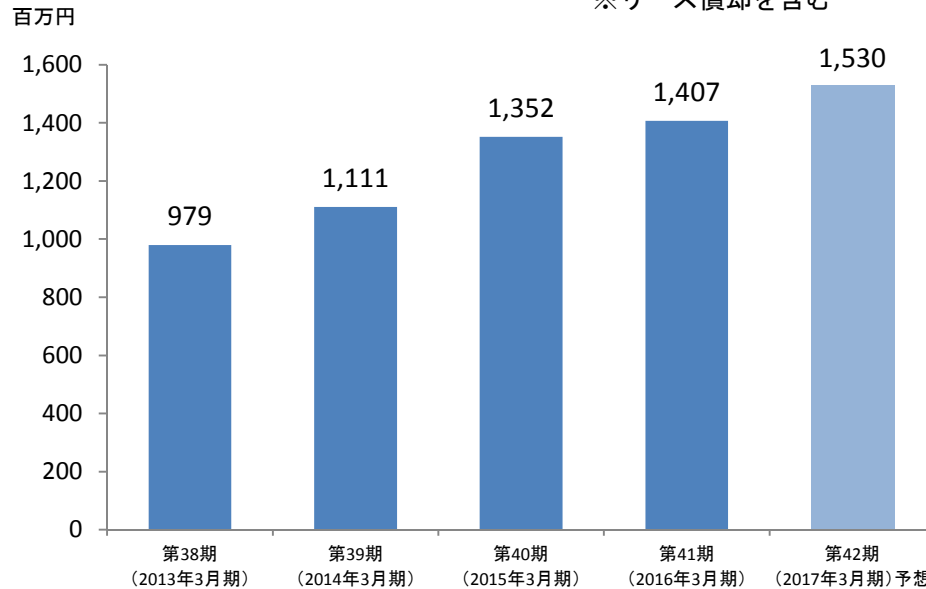
# 売上・利益の推移(連結)



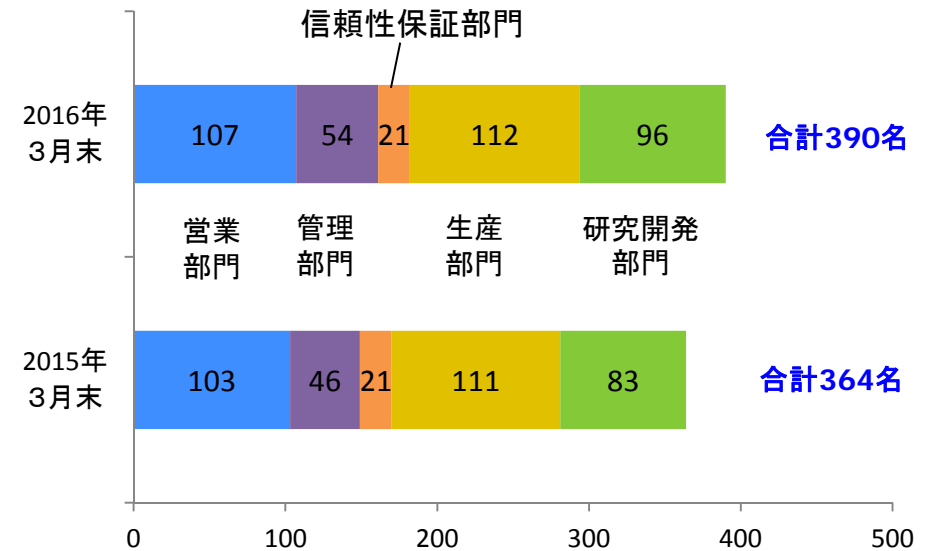


## 減価償却費（連結）

※リース償却を含む

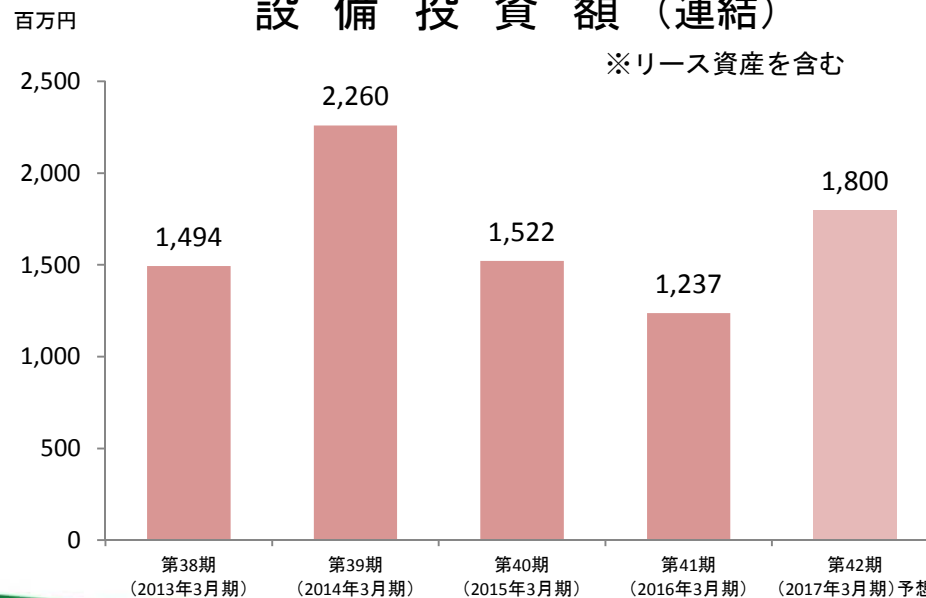


## 従業員数（単体）

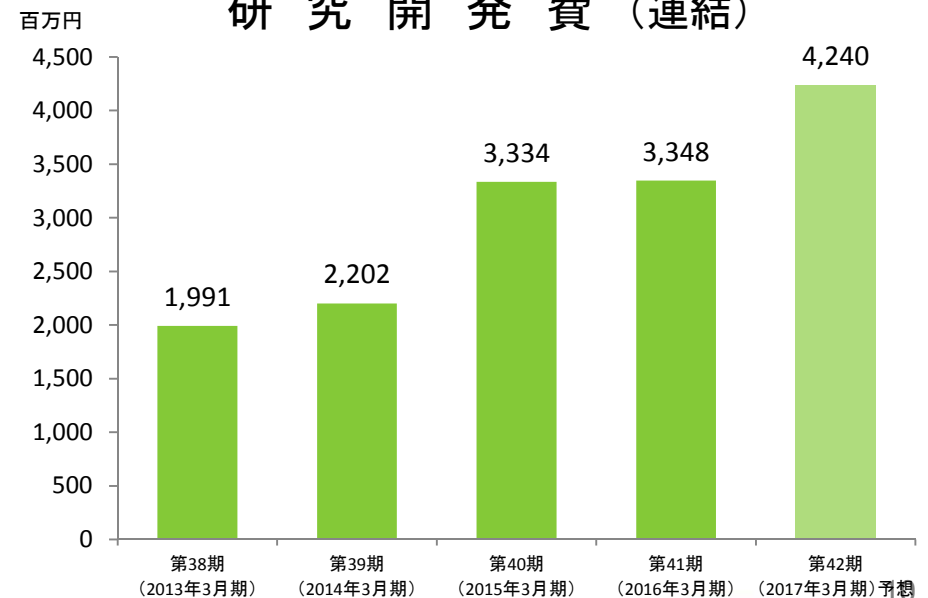


## 設備投資額（連結）

※リース資産を含む



## 研究開発費（連結）



Thank you for your attention.



– JCR Biotech for a New Tomorrow –